

The 25th Annual Meeting of Japanese Society for Minimally Invasive Orthopedic Surgery

第二十五回

日本最小侵襲 整形外科学会

MIOSの先へー従来法の低侵襲化

2019年

会期

11月9日(土)

会場

コンgresクエア日本橋

東京都中央区日本橋

会長

石井 賢

国際医療福祉大学医学部
整形外科学主任教授



<http://mios2019.umin.ne.jp/>

学会事務局

国際医療福祉大学医学部整形外科学内 〒108-8329 東京都港区三田1-4-3
TEL. 03-3451-8121 FAX. 03-3454-0067 mios2019-office@umin.ac.jp

運営事務局

株式会社ドゥ・コンベンション 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23-5F
TEL. 03-5289-7717 FAX. 03-5289-8117 mios2019-office@umin.ac.jp

第 25 回日本最小侵襲整形外科学会開催報告

<http://mios2019.umin.ne.jp/>

令和元年 11 月 9 日(土)に、コンgresクエア日本橋において第 25 回日本最小侵襲整形外科学会を当教室主幹で開催いたしました。日本最小侵襲整形外科学会は 1995 年に発足した伝統ある学会で、以来整形外科領域における最小侵襲診断・治療を研究ならびに普及させることを目的として活動を続け、その発展に貢献してきました。今回の学術集会のテーマは「MIOS の先へ-従来法の低侵襲化-」としました。これは本学会の発足から 20 年以上が経過する中、さらなる低侵襲化が整形外科全分野に渡り研究され、これまで低侵襲とされてきた既存の方法がさらに進化してきていることを踏まえ、本学術集会ではとくに従来法の低侵襲化に注目し、その現状やさらなる可能性について検討したいと考えたからです。開会式において、会長である石井教授の挨拶から始まり、早朝から夕方まで、シンポジウム、パネルディスカッション、各種セミナー、ディベートセッションなど盛りだくさんの内容で多くの先生方にご参加ならびにご登壇いただきました。ディベートセッションは骨粗鬆症と神経障害性疼痛の薬物治療に注目したもので大変盛り上がりました。今後の高齢社会において、薬物治療も含め

た治療の低侵襲化が求められているという問題提起につながったと考えています。参加者は200名には届きませんでしたでしたが187名とこの規模の学会としては盛況に終わりました。当教室からも複数登壇し、当日の運営においてもご協力いただきました。まさに教室一丸となって成功裏に終えることができたと思います。ご参加いただきましたすべての先生方ならびにご協力いただきました先生方・スタッフの方に深謝いたします。

